会　　　議　　　録

１　会議の名称　　第６回岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議

２　会議日時　　　平成27年９月30日（水）午後３時00分～５時00分

３　開催場所　　　岡谷市役所　９階大会議室

４　出席した者の氏名

（１）委員　　　小口泰史委員、早出隆幸委員、笠原新太郎委員、中山昇委員

小池良彦委員、武田彰委員、横内敏子委員、久保寛男委員

太田博久委員、伊藤敏昭委員、薩摩建委員、小野正行委員

小山智委員、花岡欣二委員、大畠一洋委員、浅井秋彦委員

今井竜五委員、中田富雄委員、宮澤昇委員

（２）執行機関（事務局）小口明則、山岸徹、岡本典幸、小松秀尊、鈴木桂、相河美咲、内尾祟人

田村賢二、廣瀬智子、仲田健二、三澤達也、両角秀孝、名取浩

（３）その他　　(株)サーベイリサーチセンター　静岡事務所　田原歩

（人口ビジョン・総合戦略策定に関する調査・分析業務　委託業者）

５　議題

（１）「結婚・妊娠・出産・子育て・教育」に関する意見交換（基本戦略３　輝く子ども育成戦略）

（２）「安心・安全」に関する意見交換（基本戦略４　安全・安心の伸展戦略）

①健康・福祉について

②意見交換

（３）岡谷人口ビジョン（案）について

（４）その他

６　会議資料の名称

資料１　第２次岡谷市健康増進計画

資料２　第２次岡谷市健康増進計画（概要版）

資料３　解決!食のお悩みブック

資料４　伝えよう！ふるさとの食材　おふくろの味

資料５　岡谷市民病院について

資料６　市町村別健康寿命の算定について

資料７　岡谷市民病院情報誌　お～えん

資料８　第５回有識者会議　意見質問等連絡票

資料９　岡谷市　まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）

資料10　第５回有識者会議　意見交換要旨

資料11　第６回有識者会議　意見質問等連絡票

資料12　第５回有識者会議　議事録

７　発言の内容

|  |  |
| --- | --- |
| 事務局  事務局  事務局  会長  事務局  事務局  事務局  会長  会長  事務局  会長  委員  会長  事務局  委員  事務局  会長  委員  事務局  会長  委員  会長  事務局  会長  委員  委員  会長  委員  委員  会長  委員  委員  会長  委員  事務局  会長  事務局  会長  事務局  会長  委員  会長  委員  会長  委員  事務局  委員  事務局  会長  事務局  事務局  会長  事務局 | （１　開会）  それでは、定刻になりましたので始めさせていただきます。本日は、大変お忙しいなか、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。ただいまから、第６回岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催いたします。会議の前に市民憲章の唱和を行いますので、恐れ入りますが、ご起立をお願いいたします。次第の裏に憲章文がございます。職員が前文を読みますので、「私たちは」からご唱和をお願いいたします。  （全員で市民憲章唱和）  ありがとうございました。ご着席ください。  （２　会長あいさつ）  続きまして、会長よりごあいさつをお願いいたします。  こんにちは。本日はお忙しいところご出席いただきまして心から感謝申し上げます。前回の第５回の岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議では移住・交流を中心とした、「ひとの流れ」についての意見交換を行いました。その後、児童育成計画を用いて、子育て支援や教育などについて担当職員より説明申し上げ、基本戦略３「輝く子ども育成戦略」について議論をいたしました。本日は基本戦略３、「輝く子ども育成戦略」の意見交換に続き、基本戦略４「安全・安心の伸展戦略」について議論をしてまいりたいと思っています。本市の安全・安心の取組としましては、健康づくりの推進や医療体制の充実、高齢者福祉の増進、危機・防災対策の推進など、市民の皆さんがいつまでも住み慣れた地域で、健康で生きがいをもって暮らし続けることができるようさまざまな施策を展開しております。「安全・安心の伸展」として、幅広い事業を実施しておりますが、今回策定する総合戦略の中では、ある程度絞り込むことが必要ではないかということで、現在庁内での検討を進めております。皆様におかれましては、まちづくりや生活の根本ともなる健康や福祉、医療につきまして、どのようなお考えをお持ちか、お気軽にご発言をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。また、本日これまで検討してまいりました「岡谷市人口ビジョン」につきまして、案ができあがりましたので、担当よりご説明申し上げます。2060年になっても人口４万人を維持したいと考えておりますので、その見通しについてお示しいたします。ぜひ忌憚のないご意見をお願いいたします。本日はよろしくお願いいたします。  本日は都合によりまして、中村文明委員さん、中村麻紀委員さん、小林委員さんがご欠席でございます。会議事項に入る前に、資料の確認をお願いいたします。  それでは資料のご確認をお願いします。本日資料を多く配らせていただいておりますのでご確認をお願いします。本日健康の関係で意見交換をお願いするということで、前回お配りしました岡谷市健康増進計画、それと概要版を用いますのでそちらのほうもご確認をお願いします。それと本日お配りしました次第の後でございますが、解決！食のお悩みブックというカラーの冊子。それと伝えよう！ふるさとの食材おふくろの味という冊子がございます。続いてＡ４の横一枚ものになりますが、市民病院についてという一枚もの。それと市町村別健康寿命の算定についてというものがございます。それと情報雑誌ということでお～えんという病院のほうで発行しております冊子が一部ございます。それと事前にいただきました意見・質問等連絡票。それから少し厚手の右肩の上に会議事項３資料ということで、岡谷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン案というものをお配りしてございます。その他に第６回の意見・質問等連絡票、それと第５回の岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議意見交換要旨をお配りしておりますので、またご確認をお願いしたいと思います。それと会議録ということで、そちらのほうもお配りしておりますので併せてご確認をお願いします。以上本日お配りした資料でございます。もし不足等ございましたらこちらのほうでお渡ししますのでお願いします。  （３　会議事項）  （１）「結婚・妊娠・出産・子育て・教育」に関する意見交換  （基本戦略３　輝く子ども育成戦略）  それでは会議事項に入らせていただきます。今井会長、議事進行をお願いします。  それでは会議事項に入らせていただきたいと思います。会議事項１「結婚・出産・妊娠・子育て・教育」に関する意見交換を議題といたします。前回に引き続いての意見交換になるというふうに思いますけれども、前回言い残したこと等ご意見がございましたらお願いをいたします。  【意見・質問なし】  間があいたものですから記憶がとんでしまったりということもあったりしまして、とりあえず先に進ませてもらって時間をとらせていただいて、また思い出したり、意見がございましたら、意見として寄せていただければと思いますので次の段階に進みたいと思いますがよろしゅうございますかね。それでは、会議事項の２ということで「安全・安心に関する意見交換」を議題といたします。はじめに、①健康・福祉について、第３回の時に説明しました総合戦略骨子（案）基本戦略４「安全・安心の伸展戦略」に関わる個別計画や資料といたしまして、「第２次岡谷市健康増進計画」および「新岡谷市民病院」について担当から説明をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。  （２）「安心・安全」に関する意見交換（基本戦略４　安全・安心の伸展戦略）  ・第２次岡谷市健康増進計画　【資料１・２より説明】  ・食に関する冊子　【資料３・４より説明】  ・岡谷市民病院に関する説明　【資料５・６・７より説明】  ありがとうございます。今健康づくりとかそれから病院ということで安全・安心の伸展戦略について説明をさせていただいたところでございますが、膨大な資料で駆け足でありますので、皆さんわかりにくいこともあるかなというふうに思いますけれども、今の説明に対しましてまず質問等ありましたらお願いをしたいと思います。何でもいいです。気軽にお願いいたします。病院のことでもいいですから。  【質問】  この病院の解体工事は、これは駐車場になるのですか。  【回答・質問】  病院の裏側は駐車場になります。全部で何台分あるのか。  【回答】  新病院と現在の病院、全部の駐車場を含めまして、574台の予定です。このうち現在、職員のほうは駐車場がありませんので、近隣の駐車場をお借りしているのですけれども、職員の駐車場も含めてということになりますので、概ね患者さん用の駐車場が400台くらいというようなかたちになります。現在駐車場のほうはいろいろと工事をやっていますので、実態としては300台でありまして足りない状態で今市役所のほうの駐車場を例えば月曜日の外来が混む日などはお借りしている状態です。この広報のお～えんの裏のほうに駐車場案内がありますが、一応新病院が開院しましたら概ね360台位の駐車場は確保しながら開院後工事を行っていきまして、最終的には先程申し上げた574台にしていくというような流れになっております。  【質問】  今の駐車場に関してですけれども、解体工事が終わって一応患者さん用に400台の車がおけるようになるのはいつごろなのでしょうか。  【回答】  現在計画では概ね解体が終わるのが来年の５月くらいなのですけれども、随時駐車場のほうを開放していきたいというような計画を立てております。最終的なかたちで全部整備が終わるのが、やはり来年末位になりますので、10月か11月位に駐車場は全て整備が終わるというような予定で工事を行います。  他にございますか。質問、よろしいでしょうか。それでは意見交換ということかなというふうに思っております。只今説明のありました、「安全・安心について」この部分総合戦略に盛り込んだらどうか、こんな内容があったら良いのではないかということがありましたら、どんな内容でも結構でございますので、お気軽に発言をお願いしたいと思います。  連絡票のほうにも書かせていただいたのですけれども、今、国のほうでＣＣＲＣという、これがいいか悪いかは別としまして、都会のほうから熟年世代を地方のほうへ移住というか、そういうのを進めたらいかがでしょうかというような提案がなされている訳ですが、新聞などを見ますと諏訪圏内の他の市町村、部長さん方、議会などからも具体的に検討したらどうでしょうかというようなご発言があります。それと私個人としては将来的には介護問題とか介護制度の根幹にもかかわってくるということから、慎重な検討も必要かとは思うのですが、是か非か検討するに値するのではないかというふうに思うものですから、これは広域的な話になるかもしれませんが、ここのところはいかがというふうに思います。  ＣＣＲＣ、まさしく国のほうで推し進めている部分もありますが、委員さんも今おっしゃったように、将来的な部分と考えますと介護ももちろんですが医療という部分もありますので、慎重にいくべきかなというところはあります。ただそうはいってもうちのまちといたしますと、もう少し若い世代の、60代以降ではなくて50代くらいの方たち、出来れば製造業等に携わるよう方が来ていただければというようなことで、その点も含めた岡谷市版といってよろしいのかどうか、そのようなかたちのＣＣＲＣも少し検討はすべきではないかということで今、庁内的には考えているところであります。  ありがとうございます。ＣＣＲＣはご指摘のようにいろいろ議論のあるところなので、これは少し慎重に考えていかなくてはいけないと思っておりますのでよろしくお願いしたいと思います。他にご発言、ご意見等ございますでしょうか。  今日のテーマが、食育とかそういうことなので、今日は健康増進計画に沿って意見を申し上げたいと思うのですけれども。沢山の説明をしていただきましたけれども、岡谷市は確かに健康維持増進ということで、非常に沢山の事業をしていただいております。それが理解のある人たちというのは、それなりのそれぞれの行事とかそういうのに参加をしているのですけれども、なかなか頭の中でわかっていても、先程も色々関心度というのに個人差があるということですので、私たちも地元で健康推進課のご指導をいただきながらいろいろなことをやっているのですけれども、参加する人というのはほとんどもう決まってしまっているのです。自分達も一生懸命それを皆さんにこういうことがあるのですよということを説明したりしているのですけれども、なかなか関心がないわけではないと思うのですけれども二の足を踏むというかそこに参加してもらえないというのが現実です。たぶん市のほうもいろんな行事をやっているのにどうしてかなと思われていると思うのですけれども、懲りずにそれは一生懸命やっていかなくてはいけないことだと思うのです。この計画をちらっと見ておりましたら20ページに日ごろ意識的に体を動かしているというので、一番下に表があるのですが、50代以降の人達が圧倒的に体を動かしている。これはどういう人たちを対象にして調査したかわからないのですけれども、今私たちの年代位の人というのは戦中戦後の厳しい時代を生きてきているということは、自分の健康をまず一生懸命考えているという世代だろうと思うのですね。これからの今の働き盛りの人達が今のままでいくと、私たちみたいに健康で長生きができるかというのが少々心配になるのです。その辺も説明もありましたけれども、どうしたらそういう人たちに自分の健康を、健康で長生きができるかということの、運動とか食育も含めてですけれどもそこに関心をもっていってもらうような、施策は沢山できているのですけれども、それをどうしたらそういう人たちが関わってくれるかという部分。特定検診もそうですけれども35％くらいで受診者も下がってきてなかなか上がっていかないとかいろいろな意味で、一生懸命やる人は参加して、その人たちは本当に80を過ぎても元気でやっている人たちも圧倒的に多いことは多いのですけれども、これからの60代を迎える様な人たち、どうやってこの健康維持増進ということの事業に積極的に参加してもらえるかということを非常に難しいとは思うのですけれども、是非、今後検討をしていっていただきたいなと思います。  確かに市のほうでやっている事業、それから区のほうでやっているいろいろな事業、健康寿命の延伸ということでやっていますけれども、参加者に偏りがあるというご指摘はいつも受けていますし、私もそういうふうに聞いています。敬老会のときには男性には必ず出てくれというような呼びかけをさせてもらっているとか。女性のほうがやはり関心が高くて男性のほうは低いというようなことがあるものですから、この辺は私たちもこれから工夫をしていかないといけないのかなと思いますが、なかなか参加してもらえない、そこが何といったらいいか、まだまだ格差というかこれはというような決め手がないというも事実だというふうに思っております。担当から何かありますか。  本当にご指摘のとおり、若い世代、ちょうど私たちの世代といいますか、30代から50代の働いている方というのは、検診をまずは受ける、ドックを受ければその中で、ドックとか検診を受ければ、自分の体の状態をまず知ることができ、そしてその状態によって、これはこのまま放っておいてはいけないなと思う人がきっと歩いたりまたは体重を落とそうとしたりというような行動変容につながるのですけれども、なかなかまずは検診を受けることが大事かなというふうに考えております。また意識の低い方、関心の薄い方に対しては、今年度も初めて実施したところなのですが、新入職員の、初めて就職された方の歓迎会が４月当初にあるのですけれども、そういった場を活用しまして、若いころから生活習慣病を意識した食生活ですとか運動とかタバコとかそういったことを気を付けていくことが大事なのですよということを、展示等でお示ししたり、また少しミニ講座いう事でお話をさせていただきながら、そういったある会議ですとか、またはそういった場を通じて健康づくりを伝えていく、伝え続けていくことが大事かなというふうに思っております。なかなか地域で夜に講座を開いたり、または日曜日に講座を開いてできるだけ若い方ですとか男性の方にも来ていただきたいというふうにいろいろな方法で講座等進めているのですが、なかなか二の足を踏んでしまうというところが現実ですので、またそういったところを今後の事業等で検討していきながら進めてまいりたいと思っております。  そのようなところでとりあえず色々な機会を通じ、捉えながらということかなというふうに思っておりますのでよろしくお願いしたいと思います。その他にございますでしょうか。  二つ、健康面と、あと病院のことで一つずつ意見を申し上げたいと思います。健康面のところなのですけれども、岡谷もこれから高齢化してくるのは間違いがなく、今でも市の中でも高齢化率の高いまちですし、そしてこれから間違いなく高齢化していくことは間違いないと思うのです。いかにその年配の方が元気でいることが大事だと思うので、そして元気なお年寄りの方を見ているとやはり働いていたりやることがある方が元気でいると思うのです。岡谷には製造業とかサービス産業もありますけれども、やはり高齢者が60過ぎても、或いは65歳過ぎても元気に働くことができる職場があれば、いいと思うのです。若い人がいなくなって働き手が少なくなることも非常にピンチなのですけれども、年配の人達が経験とか元気で体力もあるという方々が働いていただければ、とてもそれはピンチではなくなるのでお年寄りの方でも働けるような職場を我々はつくっていかなくてはならないし、そしてそういう人達が働けるような支援を市とかでも是非考えていただきたいなと思います。それともう一つ病院のほうですけれども、様々なこういう資料見させていただくと、やはりいい医療をしよう、患者さんにいいサービスをしようという事を当然のことながら第一テーマというかバンと前に出してくるのですけれども、それともう一つ同じくらいに是非力を入れていただきたいのは、働く先生方や看護師さんやあるいは職員の人達にも患者さんと同じくらいにスポットをあてるというか、働く意欲をもてるような職場づくりというものがすごく大事だと思うのです。うちは近くに耳鼻科があって、今医師会の会長さんやっておられる医院なのですけれども、すごく患者さんがいるのですよ。行かれた方は経験されていると思うのですが、朝行くともう並んでいて、外にもはみ出して待っているくらいなのですけれども、そこが何故それほど患者さんがくるのかなというと、駐車場があるわけでもないし、或いは設備が特別何かあるわけでもなくて、明らかに先生の力だと思うのですね。ですから岡谷病院も新病院もハード面はすごく充実していると思うので、やはりそこに多くの患者さんが来ていただくためには、いい先生がいること、そしていいスタッフの方がいること、そういう人たちを集めるためにはやはり患者さんへのサービスと共に働く人達への働きやすい職場であったり、頑張れば報われるようなそのような仕組みづくりを是非患者サービスと同じくらいに焦点をあてていただければなというふうにと思います。以上です。  立ち入った話なのですが、いい先生というのは実力主義ということもあるのですか。例えば一般の会社だったら成果主義というのがありますが、こういった病院などではあるのかなと。  成果主義ばかりではないというふうに、ある程度、公立病院などやはり不採算部門といわれるようなところもきちんとやっていかなければならないということで、数字だけでは、言えない部分もあると思いますが、そうはいいましても病院の中ではそれぞれ先生たちの評価をしていただいております。それでもう一つはやはり何といいましても、今回、病院の施設、建物から始まりまして、整理がついたりすることができましたので、ハードのほうは整えてきたのかなと思っておりますので、これから診療体制の充実ということで、ソフトの充実ということに私たちも力を入れたい。ハードもソフトも両方ともやはり医療環境では大事だというふうに思っておりますので、両方とも充実していかなくてはならないというふうに思っております。ただ、なにぶんにも、全国的な医師不足というものの解消がなかなかできないという現状、医師不足看護師さんの不足というようなこともなかなか解消できないというのも事実でございまして、そういった中で派遣元であります大学病院とかにお願いをしたり、また岡谷に関係のある方、いろいろな方にお声をかけさせていただきまして、岡谷の病院で働きませんかということを呼びかけをさせていただいております。そんな事実もあります。委員さんがおっしゃっていた、高齢でも働ける、現役で働ける職場環境づくりという、この部分がこれからは少し求められてくるのかなということがあるのですが、私もあまり分からないのですが、製造業のほうの世界では、どのくらいまでが戦力というような、製造面に全部絡めてしまうと駄目なのかもしれませんけれども、どうなのでしょうかね。なかなか難しいですかね、やはり。  一度辞められて違う職場というのはなかなか難しいと思うのですよね。今まで自分が若いころからやってきた仕事の中の継続でしたら、今ちょうど70歳まで定年を延ばせという指示がでていますので、十分に働ける。私どもの会社にも今67歳の方がいますけれども、十分に仕事はできているという感じは受けています。新たな所に行ったら非常に難しいと思うのですけれども。だから事業主がいかに60や65で首をきらずに延長するかという事が一番根底になろうと思いますね、高齢者を雇うと考えますと。  私も製造業の、現場の人とマネジメントだとか技術だとか設計だとかという人とのギャップはあるとは思います。今67歳の方がいらっしゃるとおっしゃいましたが、うちは80歳の方いたのですよね。その人は何をしていただく、もちろん60歳で他の会社を定年退職されてうちへ来ていただいたのですけれども、その人は洗浄という仕事をやってもらったのですよ。それほどあまり考えなくてもいいようなそういう仕事をやっていただいていましたが、危険な部分もあり、その辺で難しいし、もう一つは製造業でも新しい仕事にどんどん変わっていかなければいけないというところがあるものですから、その受け入れをされて、どの作業に携わるかという大きな違いがあるのですけれども、だんだん目も見えなくなってくると、そろそろ辞めさせてやらないとというのがあると思いますね。なかなかあまり高齢なのは難しいかな。危険もありますし。  現役でそういう危険がなければ働ける場所というのはあるということですね。  危険な作業というのは技術さんですよね。結局自動化ができたり、合理化できてという時代ですから昔みたいに重い物持つとか、重い物はリフトが持ってしまいますから、昔は私ども手で運びましたけれども、そういうこともなくなったり機械も合理化ができて安全の策ができているので危険性ありませんし、80までは無理でしょうけれども、私は70位までは十分に今は仕事ができるとは思っております。  おっしゃるとおり、非常に効率・安全化、そういうかたちでたいぶ、災害防止も含めて安全なようになってきました。昔のようなそういう危険な作業はなくなりつつあると思います。やはり高齢の方々が長く務めるためにはやはりそれは職場のなかでの上司との信頼関係でしょうね。職場に優しい、仕事に優しい職場といいますか、そのなかで高齢の方がいつまでもこの会社で働きたいと、そう思える会社が大事だと思います。  ありがとうございます。委員さんからご提案いただいたようなことをやはり考えていかなくてはいけないのかというふうに思います。移住交流の部分でも先程少し申し上げましたが、60代くらいの人達でまだまだ十分働ける人達は移住のターゲットというかたちで移住してもらったり、ターゲットになってくるのかなと思っています。受け入れてもらえる会社があればなお良いのかなというふうに思います。他にございますか。  病院についてですけれど、ここで新しく市民病院ができるということで皆さん本当に期待をしております。そのなかでこの間少し見学にも行ったのですけれども、今の病院も予約制にかなりの科がなっているのですが、先生もお昼も食べずにやっていらしてもやはり予約をしているにも関わらず待ち時間がというような事がどうしても問題になってきているのが現実で、ここでこのようなことを言っていいのか分かりませんけれども、この新病院に対する期待というのはやはり大きいわけなのです。委員さんがおっしゃったように、先生方も看護師さん達も大変忙しくやっていますし、科によっては不採算の部分もあるということなので、何しろ人がくればいいという問題でもなく、やはり行った患者さんが満足ができるような病院であってほしいなと思います。そのようなところで是非市民の皆さんにもまた新しくなっても待ち時間があるのかねとか色々心配する向きもありますので、是非とも多分待ち時間はあることはあると思うのですけれども、その辺の対応というのは患者さんにわかりやすく柔軟な対応をしていただけたらいいなと思いますがよろしくお願いします。  岡谷病院経営企画課の小松と申します。新病院の待ち時間の部分でありますが、待ち時間やはりどうしても発生してしまうというのは、これはやむをえない部分なのかなというところがございますが、例えば今回レストラン等整備させていただいております。そういう部分にも患者様に診療案内の表示をシステムとしてできるようにしておりますので、外来の待合で待っていただかなくてもそういうレストランで少しゆったりとしたところでお待ちいただいて、待っていただく時間はさほど変わらないかもしれませんが、少し環境も良くなってお待ちいただけるような工夫をさせていただいております。また今現在耳鼻科等におきましてはかなり長時間お待ちいただくケースというのもでておりますので、一度携帯等の連絡先をお伺いいたしまして一旦お帰りいただいて、また診察が近くなった段階でお呼びをするというようなそういうような個別の取組もさせていただいております。どうしても当院の耳鼻科、市内の耳鼻科は先程、委員さんのお話にもありましたが、小口先生のところと当院しかございませんので、患者さんはどうしても集中してしまいます。できる限り待ち時間が少なくなるように、きちんと診療ができるよう様々な努力をさせていただいておりますので、またいろいろなご意見等いただく中で、アイデアを出していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。  総合病院はやはり待ち時間というのは一つの大きな課題かなというふうに思っておりますが、今回表示されるようになるのでね。診療状況が、例えば今何番の方が診療を受けていますみたいな表示がでるのですね。  お配りしています「お～えん」の９ページの下のところに、診察案内表示板というところで今回この上にブロック受付というところで書いてありますが、ブロックがいくつかに分かれておりましてその中に診療科が入るようなかたちになりまして、受付しますと皆さん連番で番号をとるようなかたちになります。その番号で各部署のところでお呼びするようなかたちになりますので、今までは自分がどの辺で呼ばれるかというのが全然わからなかったのですけれども、今誰が何番の人が診察しているのかというのがわかりますので、そうするとまだ順番はこないのかなとか、間もなくくるのかなというところが見えてきますので、いわゆるそういう待っているストレスというのは若干解消されるのかなというふうに考えております。  いろいろなまた工夫がされております。よろしくお願いいたします。その他ございますか。よろしいでしょうか。とりあえずここで一旦切らせていただきたいというふうに思っております。内容ですが、本日ご質問が沢山ありましたのでこういったことをまた活かしながら総合戦略のほうに盛り込んでまいりたいというふうに思っております。それでは、次に「会議事項３の岡谷市人口ビジョン（案）について」を議題にいたします。まず担当から説明をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。  （３）岡谷市人口ビジョン（案）について【資料９より説明】  ありがとうございます。この人口ビジョンにつきましてはいろいろなアンケートをとらせていただいたりそういったものを基にしましてまとめさせていただいたものでございます。人口のグラフをみていただきますと国立社会保障・人口問題研究所、何もしていかないとこういう数字になるという、これではいけないということで国をあげてこの地方創生ということをやっていこうということでございます。ですから私もいろいろな良い要素悪い要素を加味しながら、いろいろな人口ビジョンを考えさせていただいたところでございますけれども、今までも申し上げましたように、国全体が人口急減、少子高齢化という深刻な課題に直面をしているわけでございます。こうした課題に対しまして、国は、このようなピンチをチャンスに変えるため、地方の創生は日本の創生であるとの認識のもとで、新しい国のかたちづくりに取り組むとしており、国と地方をあげてこの人口減少に歯止めをかけ、活力あるまちづくりに取り組んでいるところでございます。本市といたしましても、今担当から説明いたしましたとおりでございますが、45年後、45年というのはなかなか先の話ですけれども、2060年に何としてでも人口４万人を維持したいというふうに考えているところでございます。皆さんのご意見を伺うなかで、これまで取り組んでまいりました、産業振興による働く場の確保や子育て支援の充実、岡谷らしい特色を活かした岡谷ブランドを創造し、人と人との結びつきや、地域力を高め、誇りと自信、そして愛着のもてる、みんなが元気に輝く、たくましいまち岡谷に向けまして、着実に進んできているというふうに確信をしているところでございます。そして、これらの事業をよりいっそう推進することによりまして、また、将来に夢や希望を描ける人口といたしまして、2060年の将来の展望人口４万人を維持することを目標として掲げてまいりたいと考えております。そのようなわけでこの人口ビジョンまとめさせていただいたところでございますけれども、時間の問題もありますので、このことについてはとりあえずご意見がある方はございますか。  【意見】  すみません、一意見ではなくて考えるにあたってお願いなのですけれども、もしできれば最終の人口の将来展望のところの2040年それから2060年というかたちでいろいろなパターンというかが出たのですけれども、これは絶対数とかあとその裏に年少人口の割合というのがあるのですが、もしこれができればそれぞれのもののピラミッドが見られればありがたいなというふうに思います。というのは絶対数ももちろん大事なのですが、どういう構成のかたちになっているのかというのが非常に重要だと思いますので、もしできましたらそれぞれの時のピラミッドがこういうかたちの予測ですよというものが見られればありがたいなというふうに思っています。  【回答】  細かくはできないけれど大きくはできるでしょう。それではまた用意をさせていただきたいというふうに思います。  【意見】  何回か有識者会議を開いております。それとあと新聞等で見ると、市の職員の方々が例えば東高に出向いたりとか、子育て世代の方々と向き合ってヒアリングといいますか、面談されて意見を聞かれているというような話も新聞で出ております。その中で市の方が岡谷市民の方がこういう総合戦略についてさらに意識を、限られた人ばかりではなく全員が意識をもって関心を持つということも含めて、例えばホームページへの掲載もしくは例えば広報おかやの掲載とかそういうものが工夫されればいいな思います。これは要望でございますが。  【回答】  ある程度こういう有識者会議で方向を定めたり中身を固めながらということになるかなと思いますので、その点はご了解をいただきたいというふうに思います。他にございますか。  【質問】  一つ質問がありまして、先程転出者と転入者の説明をうけたのですが、12ページと16ページのところで岡谷からの転出者と転入者の説明をうけました。これで見ますと、25歳から29歳のところは女性の転出者が多く転入者が少ないという状況かと思うのですけれども、この要因というのは、仕事の都合ということで生じているのでしょうか。それとも結婚等で他市に嫁いでいって少なくなっているという要因なのでしょうか。その辺はどのように分析されたのかわかれば教えてください。  【回答】  はっきりとこれだという答えはありませんけれども、女性のところは特に結婚が一番ではないかというようなかたちで、アンケートや何かのところから見ると推測されるところであります。  【質問】  将来的な人口の算出規準、例えば98ページ、推計でございますがそのなかの言葉としてすみません、基本的な質問なのですが、人口置換水準その言葉の意味を教えていただけますか。  【回答】  こちらの人口置換水準といわれるものにつきましては、基本的には2.07あれば基本的に人口が均衡する、減らないというような意味合いのものに使われるものになります。子どもの、合計特殊出生率2.07あれば人口が一定のままでいくというような数字で使われているものになります。  （４）その他  よろしいですか。少しまだ中途半端な部分があるかと思いますので、これは次回ももう一回とりあげさせていただきたいと思います。また少し資料等見ていただければというふうに思いますからよろしくお願いをしたいと思います。それではとりあえず今日のところはここのところで会議事項を閉じさせていただきたいと思いますが、事務局のほうから何かありますか。  それでは今後の進め方についてご説明させていただきます。６月30日の第１回の会議からこれまで皆さんから大変貴重なご意見をいただいてまいりました。地方創生に関するご意見ですとか、戦略１から４にかけまして、いろいろな意見をいただいてきたところでございます。現在これまでにいただきました皆さんのご意見をもとに総合戦略を今庁内で検討しているという段階でございます。この総合戦略がまとまりましたところで事前に皆さまに配布させていただきまして、その総合戦略についてまたご意見をいただきたいとそのように考えているところでございます。次回の時には、この人口ビジョンにつきましてもまたご意見をいただきながらというようなことを考えておりますので、よろしくお願いいたします。なるべく早い時期に皆様に配布できるよう庁内議論を深めましてお示ししてまいりたいとそのように考えているところでございます。ただ、11月中に第７回第８回と２回の有識者会議を開催させていただきまして、そのなかで皆様からご意見いただきまして12月には岡谷市版総合戦略を決定してまいりたいと、そのように考えておりますので、引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。  続いて、この人口ビジョン、今日お示しをさせていただきましたので、資料の中に第６回岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議意見質問等連絡票というものを入れてございます。また質問、この人口ビジョンにつきましてでもかまいませんし、今までやってきた内容のなかでこういうことが必要ではないかというようなものがございましたら、この質問票を使ってまた市のほうにご連絡いただければというふうに思っております。先ほど課長の説明にもございましたが、次回開催につきましては今日程調整中でございます。11月の上旬に第７回というようなことで今調整中でございますので、また日程決まりしだいご連絡を差し上げます。よろしくお願いしたいと思います。こちらからは以上です。  少し間がありますけど実は10月は私ども議会がありまして、そちらのほうの会議もあったりするものですから少し間がありますが了解をいただきたいとそんなふうに思います。よろしくお願いいたします。それでは本日の会議事項を閉じさせていただきます。ありがとうございました。  （５　閉会）  以上をもちまして第６回岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議を終了といたします。ありがとうございました。 |

上記に相違ないことを確認する。

会長　　今井　竜五